



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

東

上場会社名 尾家産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7481 URL <https://www.oie.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 尾家 健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 畑中 則行 TEL 06-6375-0151(代表)
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
98,846	8.8		2,951	7.5	2,994	7.8	2,071	0.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,163百万円(-12.0%) 2025年3月期第3四半期 1,932百万円(- %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
249.76	—	—

	2025年3月期第3四半期
249.65	—

(注) 当社は、2024年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期第3四半期の
対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期第3四半期	百万円		百万円		%	
43,534			15,804		36.3	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 15,804百万円 2025年3月期 14,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	45.00	—	57.00	102.00	
2026年3月期	—	47.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				47.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
124,700	4.6		3,720	4.3	3,800	5.2	2,600	△7.6	313.70	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3 Q	9,255,000株	2025年3月期	9,255,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	954,306株	2025年3月期	966,780株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3 Q	8,294,441株	2025年3月期 3 Q	8,282,060株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、食品価格等の上昇は続くものの、賃金上昇が消費支出を下支えし、緩やかではありますが回復基調にあります。

当社グループの主要取引先であります外食産業におきましては、過去最多の訪日外国人や国内消費マインドの持ち直し、原材料価格の高騰を背景としたメニュー価格のアップによる客単価上昇などで市場は堅調に拡大いたしました。

このような状況下、当社グループは第6次中期経営計画の骨子である営業重点施策に営業資源を集中させるとともに、外食市場に対して確実に商品を確保し、適正な価格で提供させていただくことに注力いたしました。

商品政策につきましては、10月にプライベートブランド商品（以下、P B商品）「サンホーム アボカドダイスカット IQF ペルーナ」を新たに発売いたしました。ペルーナのフレッシュなアボカドを1.5cmにダイスカットした後バラ凍結し、自然解凍で簡単に召し上がっていただける点が高く評価され、多くのユーザー様でのメニューの採用に繋がりました。これら商品政策及び既存商品の取扱促進に努めた結果、P B商品全体の売上は前年同期比108%となりました。商品の値上げに伴い、ますます高まる代替商品や新メニューへの要望に応えるべく、今後も積極的にP B商品開発とメニュー提案に取り組んでまいります。

ヘルスケアフード業態につきましては、ヘルスケアフード専任者を9名に増員し、本社、名古屋支店、東京広域営業部の3拠点に配置いたしました。これにより、個別ユーザー様毎の提案会（One to Oneプレゼン）や、各事業所での「やさしいメニュー事業所プレゼン」開催を積極的に推し進め、メニュー及び商品提案のサポートを実施するなど提案活動の充実に努めた結果、ヘルスケアフード業態向けの販売実績は前年同期比109%と伸長いたしました。

また、同業態における個食化、省人化のニーズに応え、おせち一段重「燐」に加え、ムースおせち「燐」を新商品として発売したところ好評を博し計画以上の販売実績となりました。

「磨き」をテーマに2025年8月よりスタートした「2025年秋季提案会」は初開催の熊本会場、5年ぶりの浜松会場を含む全15会場で7,500名を超える過去最多の来場者を迎えた盛況のうちに10月で終了いたしました。新規ユーザー様も過去最多の来場社数となりました。出展商品やメニューへの評価も高く、ユーザー様での採用が相次ぎ売上、利益にも大きく貢献いたしました。

ホテルなどの宿泊業態への取組強化としましては、朝食に重点化した宿泊業態向け商品を選定し、専用カタログを新たに作成して全国で同業態向けプレゼンを積極的に実施いたしました。カタログ掲載アイテムの売上は前年同期比120%の伸びとなり、宿泊業態の売上は前年同期比114%の伸長となりました。

10月に閉幕しました大阪・関西万博へは多くの当社ユーザー様が出店し、当社も食材の供給で貢献いたしました。インバウンド需要を取り込めたほか、新規に開業した宿泊施設との取引は現在も継続できており、当社の売上拡大にも寄与しています。

E C（電子商取引）ビジネスでは、楽天市場での販売強化によりアクセス数、売上ともに前年の4倍を上回り、12月についても過去最高の売上金額となりました。この急激な売上伸長をうけて、10月よりE C専任要員を1名増員して、受注から出荷までの対応強化を図っています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高988億46百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益29億51百万円（前年同期比7.5%増）、経常利益29億94百万円（前年同期比7.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益20億71百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期累計会計期間末の総資産は、435億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して59億36百万円の増加となりました。

主な要因は、現金及び預金が1億79百万円、受取手形及び売掛金が41億14百万円、商品が15億94百万円、投資有価証券が6億68百万円増加した一方で、未収入金が3億26百万円減少したことによります。

(負債)

負債は277億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億8百万円の増加となりました。

主な要因は、買掛金が46億2百万円、未払費用が1億40百万円増加した一方で、短期借入金が50百万円、未払法人税等が1億98百万円減少したことによります。

(純資産)

純資産は158億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億27百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金が12億9百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	6,128	6,308
受取手形及び売掛金	14,944	19,059
商品	3,606	5,201
未収入金	1,755	1,429
その他	63	137
貸倒引当金	△6	△8
流动資産合計	26,492	32,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,842	10,868
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,565	△6,848
建物及び構築物（純額）	4,276	4,020
機械装置及び運搬具	463	462
減価償却累計額及び減損損失累計額	△377	△392
機械装置及び運搬具（純額）	86	69
工具、器具及び備品	564	578
減価償却累計額及び減損損失累計額	△429	△414
工具、器具及び備品（純額）	135	163
土地	2,280	2,324
建設仮勘定	—	9
有形固定資産合計	6,779	6,586
無形固定資産		
のれん	46	38
ソフトウエア	110	109
その他	27	27
無形固定資産合計	184	174
投資その他の資産		
投資有価証券	811	1,479
関係会社株式	95	95
差入保証金	2,133	2,062
繰延税金資産	944	897
その他	209	167
貸倒引当金	△53	△56
投資その他の資産合計	4,141	4,645
固定資産合計	11,105	11,407
資産合計	37,597	43,534

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,459	21,061
短期借入金	50	—
1年内返済予定の長期借入金	53	46
リース債務	42	53
未払金	239	286
未払費用	1,789	1,929
未払法人税等	667	468
賞与引当金	785	722
その他	139	210
流動負債合計	20,227	24,779
固定負債		
長期借入金	62	28
リース債務	88	127
役員退職慰労引当金	220	220
資産除去債務	774	778
退職給付に係る負債	1,605	1,650
その他	143	146
固定負債合計	2,894	2,950
負債合計	23,121	27,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305	1,305
資本剰余金	1,240	1,247
利益剰余金	12,882	14,091
自己株式	△1,496	△1,477
株主資本合計	13,932	15,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333	426
退職給付に係る調整累計額	210	209
その他の包括利益累計額合計	544	636
純資産合計	14,476	15,804
負債純資産合計	37,597	43,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	90,864	98,846
売上原価	73,827	80,364
売上総利益	17,036	18,482
販売費及び一般管理費	14,292	15,530
営業利益	2,744	2,951
営業外収益		
受取利息	2	9
受取配当金	12	13
受取賃貸料	12	8
雑収入	18	14
営業外収益合計	45	46
営業外費用		
支払利息	1	2
賃貸費用	0	0
和解金	9	—
雑損失	0	0
営業外費用合計	12	2
経常利益	2,778	2,994
特別利益		
投資有価証券売却益	249	—
特別利益合計	249	—
税金等調整前四半期純利益	3,028	2,994
法人税、住民税及び事業税	908	918
法人税等調整額	52	5
法人税等合計	960	923
四半期純利益	2,067	2,071
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,067	2,071

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,067	2,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	93
退職給付に係る調整額	△4	△0
その他の包括利益合計	△135	92
四半期包括利益	1,932	2,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,932	2,163
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの報告セグメントは「食品卸売事業」のみであり、「倉庫業」は重要性が乏しいため記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費 のれんの償却額	418百万円 8	388百万円 8